

研修生の紹介コーナー⑧

みなさんこんにちは！私は Sarantungalag Enkhbat です。ニックネームはバットです。モンゴルから参りました！農業一般コースの研修生です。趣味は馬に乗ることです。モンゴルに子どもが2人います。もうすぐ会えるのでとても楽しみです。日本では農業は管理が一番大切だということ勉強しました。モンゴルに帰ったら、ぶどう栽培に挑戦します。うまくいか分かりませんが、頑張ります！！
1年間、ご支援ありがとうございました。

??バットさんに聞いてみよう◎

☆日本での一番の思い出を教えてください！

→いろいろな経験をさせてもらいましたので、選べません。毎日の農業実習では、モンゴルではしたことのない管理方法を勉強したり、栽培をしました。個人畑では病気になったり、虫もたくさんついて心配でした。休みの日も自転車で畑に見に行きました。美味しい野菜ができた時は嬉しかったです。いろいろな所に見学に行ったことも忘れられない思い出です。長崎、佐賀、熊本、鹿児島、山口、広島、愛知、京都…。福岡県でもいろいろな所に行きました。本当に全部覚えているし、ずっと忘れません。いつもサポートしていただき、優しくくださった皆様に感謝します。ありがとうございました。是非モンゴルに馬に乗りに来てください♪



みなさん、こんにちは！Boniface Nara です。ニックネームはナラです。パプアニューギニアから参りました。指導者育成コース(15カ月)の研修生です。42歳です。趣味はギターやピアノを弾くことです。私は9年前、オイスカ中部日本研修センターで1年間、農業研修を受け、帰国後はオイスカラバウル研修センターで働いていました。今回は指導者育成コースで、研修しています。農業研修生とシュガーさんはもうすぐ帰りますが、私は6月に帰る予定です。

??ナラさんに聞いてみよう◎

☆この1年、勉強になったことは何ですか？

→バットさんと同じように、有機農業の管理方法です。パプアニューギニアでは管理をあまりしないので大変いい勉強になりました。それから、時間を守ること、早めに行動することを学びました。パプアニューギニアでは時間がゆっくりです。日本人はいつも5分前に行動します。それは、私にとって難しいことですが、この1年で身に付きました。時間を大切にすることは、とても良いことだと思います。パプアニューギニアでもそのようにしたいです。



オイスカ推進協議会ご紹介コーナー

今月は北九州推進協議会のご紹介です！！

オイスカ北九州推進協議会は平成18年にオイスカ北九州支局として発足し活動がスタートしました。平成23年2月1日には内閣府より「公益財団法人」として正式に認定を受け、オイスカ北九州支局からオイスカ北九州推進協議会と名称を改めました。発足以来海外支援活動を中心にフィリピン共和国ディポログ市へ清掃車を寄贈、またフィリピン南部地域災害の危機管理の救命ボートの支援活動をはじめ熱帯雨林再生の植林活動を行ってまいりました。国内においては北九州エコライフステージの出展や若松区響灘での植林活動、またアジアの子供の森親善大使を北九州市にお迎えして北九州市の小学校での交流を行ってまいりました。今後も「地球環境考え教育と開発を推進する」をテーマに国内外において積極的な活動を展開してまいります。皆様のご支援よろしくお祈りいたします。



救命ボート18台を寄贈

寄贈先：フィリピン共和国ミンダナオ島
ディポログ市



清掃車3台を寄贈

寄贈先：フィリピン共和国ミンダナオ島
ディポログ市



北九州エコライフステージ出展

(於：北九州市役所周辺)



鳥がさえずる緑の回廊植樹会

(於：北九州市若松区響灘地域)

オイスカ北九州推進協議会
会長：藤澤博基
事務局：〒807-0865
北九州市八幡西区美吉野町 10-37
電話：093-601-6921
事務局長：中村恭子